

特定非営利活動法人幕別札内スポーツクラブ



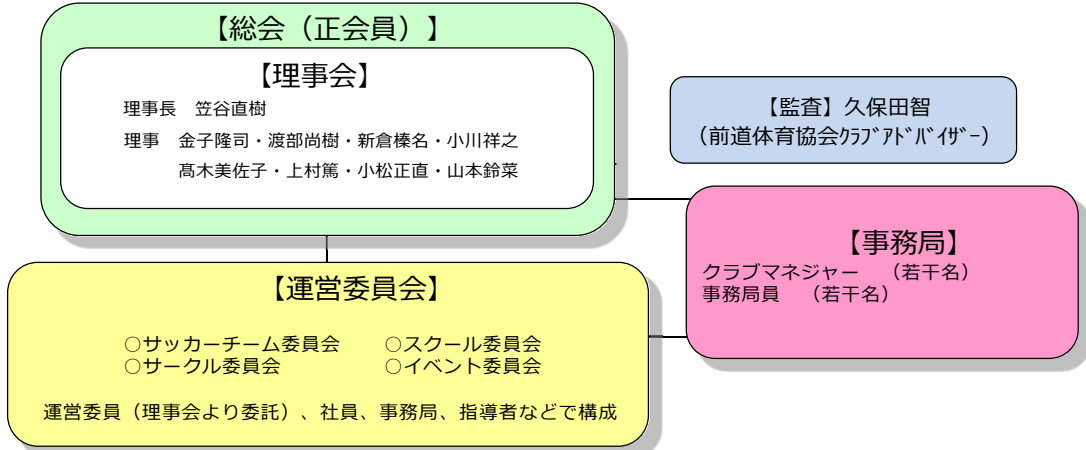
幕別札内 F C

2020説明会資料



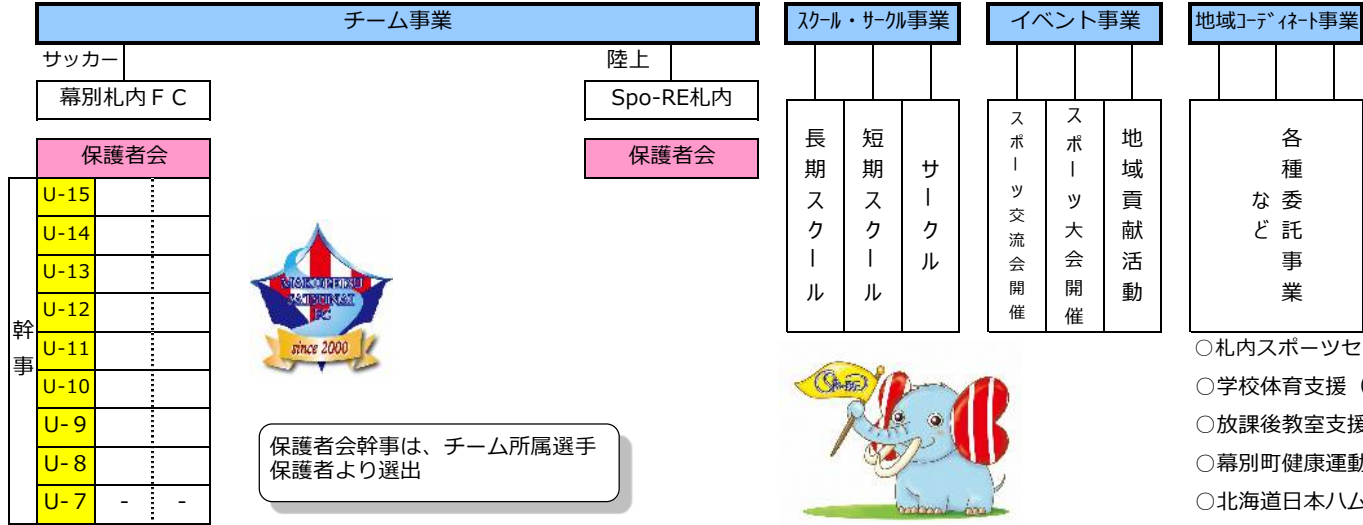
NPO法人幕別札幌スポーツクラブ運営組織図

本クラブの組織は、理事会と事務局を中心に、運営委員会を開催し企画・運営をしていく。
理事は理事会において選出し、総会の議決を経て承認される。報酬は支給しないが、常勤の職員には理事会の議決を経て支給することができる。



【顧問税理士】
 中川会計事務所
 (帯広市)

【顧問労務士】
 社会保険労務士テラス
 (札幌市)



- 札幌スポーツセンター・農業者トレセン指定管理業務
- 学校体育支援 (幕別町・池田町など)
- 放課後教室支援 (池田町)
- 幕別町健康運動・介護予防運動等
- 北海道日本ハムファイターズ幕別後援会
- 幕別町スポーツ少年団事務局 など

地域のみなさま

(第3種郵便物認可)

幕別札内々指定管理者へ

あす町議会に提案

札内スポーツセンター 農業者トレーニングセンター

【幕別】町は体育施設の「札内スポーツセンター」（札内幌町287）と「町農業者トレーニングセンター」（錦町98）について、NPO法人幕別札内スポーツクラブ（笠谷直樹理事長）を指定管理者とする方針を固めた。31日に開会する町議会定例会に関連議案を提出する。両施設は2019年度から指定管理者制度による運営を行うことが決まっている。

両施設はともに体育館、武道館、トレーニング室を備え、札内地区と本町地区

の住民に欠かせないスポーツの拠点となっている。指定管理は民間による効



札内スポーツセンター



町農業者トレーニングセンター

率的な運営やサービス向上などが目的で、期間は5年間。町の募集には同クラブが唯一応募していた。

同クラブは札内地区で活動する総合型地域スポーツクラブ。2000年に発足した地域のサッカー少年団「幕別札内FC」から発展し、10年に設立した。サッカーのほか、陸上やタグラグビーなどのスクール事業、イベント運営などでスポーツの普及や振興、子どもたちの健全育成などに力を注いでいる。

町による両施設の運営管理費は今年度見込み額で総額4460万9000円（消費税を除く）。町は5年間の指定管理料について、2億1400万円に消費税を加算した額を上限額としている。

笠谷理事長は「もし指定管理者に認められれば、これまでの活動の延長線上として『みんなぞくろくスポーツパーク』をコンセプトに、幕別ならではの異世代交流の場をつくりたい」と話している。

（松村智裕）

「もっと強いドリブルで」
「今の守りはいいぞ」。5月下旬、緑豊かな幕別町札内川河川敷を訪れると、サッカーボールを追う小学生一人一人に声を掛けていた。NPO法人幕別札内スポーツクラブのマネジャー、小田新紀さん(43)は「スポーツを通して地域の子供を見守り、育てる活動をしたいです」と笑顔を見せた。

幕別札内スポーツクラブマネジャー

おだ あらき
小田 新紀さん

地域で子供育てたい

1以外に、職員3人を束ね、クラブ運営の責任者を務める。

出身は愛知県岡崎市だが、豊かな自然のある道内に憧れ、道教大札幌校に進んだ。スポーツクラブでアルバイト

をしていた時、健康指導をしていた会員から「体が軽くなる。毎日が楽しくなった」と

言われた。野球に打ち込んだ中学時代は常に補欠要員で悔しい思いをしていただけに、「教える」楽しさを感じた。

1996年に卒業後、十勝

管内の小学校教員に。体育の時間、汗だくの児童が、その後の授業に集中する様子を目にし、スポーツが教育に与える好影響を実感した。幕別札内北小に勤務していた200

るばかり。支援者が現れたこ

ともあり、10年に退職した。スポーツクラブの設立に奔走し、少年団を総合型スポーツクラブに衣替えした。

設立から6年。活動の輪は町外にも広がる。管内七つのスポーツクラブでつくる親睦組織「Action十勝」

の事務局長も兼任。バレーボールの元日本代表の成田郁久美さんや元コンサドーレ札幌の曾田雄志さんらを招き、指導会を催すなど他クラブとの交流にも力を入れる。

0年にはサッカー少年団を立ち上げた。「学校の枠を超え、より多くの子供たちを地域で育てたい」。そんな思いは募

Monday

ひと

今年は今大会員が参加できるミニ運動会の開催も計画。「競技や世代を超え、町の大人が子供を育てるクラブを目指し、地域づくりに貢献したい」と夢を描く。(斉藤徹)

欧州視察で描く 十勝型SCの未来像



誰もが生涯を通じて運動を楽しむために可能性を秘めているのが総合型地域スポーツクラブ（SC）だ。2010年から同クラブとして活動を始めた幕別札内SCのクラブマネージャー小田新紀さん（42）は、8日から24日まで、総合型地域SCの「本場」英国、オランダ、ドイツを視察した。スポーツが生活の一部として根付く3カ国の先進事例を見るとともに、日本の中の十勝の優位性も確認し、食とスポーツの融合による「十勝型SC」の未来像を描き始めた。

放課後はクラブ運動に高い意識

サッカーのトップリーグに所属するクラブチームなどを核とし、年齢や性別などを問わず住民に運動の場を提供している欧州のSC。日本の少年団や部活動のような学校単位の仕組みは欧州では極めてまれで、多くの子供たちは放課後に地域のクラブで運動に親しむ。



運動が日常食と融合も

会が取り組む「十勝人チャレンジ支援事業」の助成を受け、3カ国の視察を終えて帰国した小田さんは、意外にも「スポーツに必要な自然環境、施設、食は十勝の方が優れている部分も多かった」と言う。しかし決定的に違うのは「人々の意識」だった。「ヨーロッパの人にとっては日本で



欧州視察を終え「食との関わり方など十勝らしいSCの在り方を考えていきたい」と語る小田さん

かして楽しむことを生活の一部としている人々の姿だった。

工夫し施設利用 複数競技で共有

街を歩けばさまざまな場所にスポーツ施設があり、スポーツを楽しむ市民の姿があった。オ

ランダ・アムステルダム国立美術館前のスケートリンク。芸術とスポーツの施設が同じ空間にあり、大人も子供も日常的に両方を楽しむ（小田さん提供）

言う「衣食住」と並んで「運動」「芸術・文化」がある」と話す。視察で小田さんの心に強く残ったのは最新の施設や設備、優れたシステムではなく、体を動

国では巨大な倉庫跡に造られた室内サッカー場や、ボクシングと体操で空間をシェアするジム、工場跡を利用したウォールクライミング施設などもあった。資金がなくても複数競技で空間を共有し、既存施設を工夫して運動する場所にしていった。

一方で、日本では「スポーツすることが（日常とは異なる）特別なもの」になっている」と小田さんは指摘する。高校や大学への進学を機に競技をやめ、それから運動習慣がなくなること

珍しくない。愛知県で野球をやっていた小田さんも高校入学の際に同様の経験をした。小田さんは「日本ではスポーツをすることにいろいろな準備が必要だったり、決まりがあったり、勝利が求められたりする。そういう窮屈な状況で子供たちがスポーツをしている」と語り「子供がクラブや競技との関わり方を（自ら）選べるのが大切。SCはそうした子供たちの選択肢の一つになりたい」と語る。

視察を通じて十勝の大きな可能性も感じた。それは「食とスポーツとの結びつきを強めていくことができる」という点だ。欧州ではスポーツ施設の多くでカフェを併設しており、スポーツと食、さらには音楽などの芸術・文化が同じ空間で楽しめる。こうしたスポーツと日常との連続性がスポーツが文化として根付いている要因となっている。

日本では飲食禁止の体育施設も多く、「スポーツ」と「食」は空間として切り離されている。「欧州に比べても十勝の食材は本当においしいと実感した。クラブとしても今後、食との関わり方、フードバレーとかちでのスポーツクラブらしさを考えていきたい」と強調した。（大谷健人）



幕別札幌内FC 指導方針

選手の将来のために

☆ 勝つこと・育てることのバランスを考えながら

- ・ 競技である以上、いかなる試合でも常に勝利を目指すのが、クラブ活動の「目的」ではない。
- ・ 目先の勝利を得るために、将来の大きな成長を阻害しない。例えば、けがや痛みのある選手を無理に出場させる、その時点での能力や体格に勝る選手に偏るといったような選手起用をしない。
- ・ 次のステップアップに向けて、選手一人ひとりがそれぞれ夢と希望を持てるようにすること。
- ・ 選手の成長（発育や発達含む）を見極めながら、各年代で身に付けるべきことを優先。
- ・ Players First（プレイヤーズファースト）：何事も、選手たちにとって何が一番良いのかというという基準で考える。⇒ 選手を甘やかす、自分勝手に許すということではない。
- ・ 現時点での能力だけを観るのではなく、将来新たな能力を身に付けた時の姿を思い描きながら一人ひとりの選手に関わる。

コーチングの目的

☆ サッカーの「楽しさ」を伝え、クリエイティブでたくましく、豊かな人間性を育む。

- | | |
|-----------|-------------------------------|
| ① 動く楽しさ | (活動欲求が満足できる) |
| ② かかわる楽しさ | (仲間との支え合い高め合い、コミュニケーション能力の向上) |
| ③ できる楽しさ | (できないことができるようになる・・・技術の習得) |
| ④ 知る楽しさ | (知らなかったことを新たに知る・・・知識の習得) |
| ⑤ わかる楽しさ | (動き方がわかる・・・戦術理解) |



【解決法を「与える」のではなく、自ら「見出す」能力を育てる】

・ コーチからの発問に対し…選手が自分で考え…解決策を見出す。

(選手自身が判断する能力を磨く)

・ 「知識」を獲得するだけではなく、獲得した「知識」を活用・応用し、物事に対して、いつ、どんなときでも的確に対応できる「知恵」を身に付けられるよう促していく。

「観て、自分で判断してプレーする楽しさ」を得る



良い習慣の追求

☆ チームや仲間、支えてくれる方に貢献しようとする「努力・心構え・やる気」の育成

- ・ 『ON THE PITCH』(オン・ザ・ピッチ 試合・練習など)
 - ⇒ クリエイティブでたくましいプレー、選手同士の話し合いによる課題解決
- ・ 『OFF THE PITCH』(オフ・ザ・ピッチ 試合・練習以外など)
 - ⇒ 生活習慣をより良く
 - 「学業」との両立
 - バランスの良い「食事」
 - その場に適した「挨拶」
 - 適切な「休息」

様々な「体験」の蓄積

☆ 子どもの頃の様々なスポーツ体験、生活体験の重要性が叫ばれています。

科学的に証明されており、諸外国では当たり前のこと。

我々が最も大事にしていることの一つです。

☆ 「知・徳・体」ではなく、「体・徳・知」を。

☆ 「成功体験」と「失敗体験」のバランス

☆ 大人が見守り、寄り添い続ける。

☆ 多くの仲間の中で、子どもたちは自然に育む。様々な立場の仲間との交流。

(一人ひとりがみんなを成長し、みんなが一人ひとりを成長させる)

総合型クラブとしての一貫指導

☆ 考え方・コンセプトを全スタッフが共通理解のもと幼児から中学生まで指導にあたる
他分野からの視点で選手の多様性を見出す

- ① 長期目標・短期目標
- ② 年間、月間、週間のトレーニングの目的と内容
- ③ 選手一人ひとりの能力と、チームの評価
- ④ 総合型クラブとしてのやくそくごと
- ⑤ 総合型クラブとしての理念追求

英才教育より複数競技

子どもとスポーツ 第11部

けがをなくそう

下

きょうラグビーを習え
ば、翌週は野球で、別の日はサッカー……。東京都豊島区を拠点とする小学生対象のスポーツ教室「ボールパーク」は、五つの球技に取り組み。毎回変わる練習内容に、子どもたちからは「今度は何？」と、はしゃぎ声上がる。

バランス良く

運営会社の齊藤祐也社長(37)は「色んな球技をやってバランス良く体を鍛えてもらいたい」と狙いを語る。「種目数はさらに増やす予定。一つのスポーツに特化してはいないので、けがもしくい」

自身は小学生時代に水泳、剣道、野球を経験し、中学でサッカーを習った。高校からラグビーを始め、明大からサントリーへ。ナンバー8として日本代表の

多様な経験、試合でも生きる

中心選手まで上り詰めた。「自分はサッカーで身についた視野の広さがラグビーに生きた。色んな筋肉を鍛えていたので、けがも少なかった」。現役時代にプレーしたフランスのコロミーで、老若男女が色んなスポーツを楽しめるクラブを目の当たりにし、1年半前にこの教室を立ち上げた。

群馬県高崎市のNPO法人新町スポーツクラブの新町SVCスポーツ少年団も、多くの競技や遊びを体験させるのが特徴だ。活動日は毎週日曜日。ドッジボールやサッカーもするが、鬼ごっこや押しくらまんじゅうなど1日に複数の運動をこなす。同じスポーツを毎週のように続けることもなく、秋は野外活動、冬はスキーにも挑戦する。

成長期の子もたちにとっては、1競技に特化することなく複数の競技に取り組んだ方が、特定の部位の使いすぎによるけがは減る。ところが、2011年に笹川スポーツ財団が日本スポーツ少年団の指導者約

700人を対象にした調査では、年間を通じて様々な競技を採り入れている指導者は9・3%に過ぎなかった。

特化が美德に

早大の友添秀則教授(スポーツ教育学)は「明治時代以降、日本社会は欧米に追いつけ追い越せだった。勝つためには、けがは仕方ないという考えがスポーツに定着。戦後も終身雇用が中心の社会で、人生で一つの道を究めることが美德とされた」。1競技に特化する傾向は、日本のスポーツ文化が背景にあるとみる。

米国やロシアの調査では、子ども時代に複数の競技を経験している選手ほど、高いレベルで長く活躍できることが示唆されている。

二つの習い事をする場合には、サッカーチームに所属しつつ、別のサッカー教室に通うなどのケースが目立つという。村田代表は「一つのスポーツをやるチームが、時には他のスポーツに取り組みすることはできる。けがを減らすだけでなく、燃え尽き症候群やスポーツ嫌いの子どもを減らすことにもつながる」と提案している。(後藤太輔)

「ボールパーク」のスケジュール例

2015年	
1月 5日	ラグビー
	
19日	サッカー
	
26日	アメリカンフットボール
2月 2日	フライングフットボール
	
9日	ラグビー
16日	サッカー
3月 2日	フライングフットボール
16日	ラグビー
30日	野球

る。しかし、複数競技の経験者ほどスポーツの世界で成功するということを裏付ける本格的な研究は少なく、幼い頃からの英才教育で我が子をトップアスリートに願う親は多い。

スポーツをする子どもの親を対象に、子どもへの関わり方や安全対策などの情報発信をしているスポーツペアレンツジャパンの村田一恵代表は、複数のスポーツを経験させるように勧められているが、「ハードルは高い」と現実を語る。掛け持ちをすると、どちらかのチームの試合を休まざるを得ず、迷惑をかけてしまう上、経費もかかるからだ。

親として避けるべし: 大学生アスリートに聞いた「子どものころのスポーツの最悪な思い出」



子どものスポーツの大会などを見に行くと、横柄な親の姿が目につきます。あからさまに、審判をやじったりコーチをバカにしたりして、子どもに恥ずかしい思いをさせる親もいます。でも、困った親はそれだけではありません。善意からの行為が、無意識のうち到我が子のスポーツという体験を台無しにしているケースもあるのです。よかれと思ってやっているだけに、むしろこっちの方がやっかいなのかもしれません。

Proactive Coaching LLC のブルース・E・ブラウン氏とロブ・ミラー氏は、かつてスポーツコーチをしていた経験をいかし、学校などで大人向けの講演を行い、知らず知らずのうちに困った親にならないための方法を伝授しています。2人は数百人の大学生アスリートを対象に、子どものころにあったスポーツにまつわる最悪の思い出を調査しました。その結果、「試合終了後に親に送ってもらう車の中」という答えが圧倒的に多かったのです。

その理由は、「まだ汗も乾いてないうちに」、親が試合内容についてあーだこーだ言うからではないかと言われていています。試合直後の子どもにとっては、勝ち負けは関係なく、自分のプレーやコーチの采配などについてグダグダ言われるのが嫌なのです。観客でも偽コーチでもなく、「親はただの親であってほしい」のが子どもたちの願いだと、ミラー氏は言います。

スポーツとは、子どもの人生において、「好きなようにやりなさい」と親に言ってもらえる数少ない場所です。彼らにとっては、リスクを取り、失敗に対処するのに、これほど

いいチャンスはないでしょう。なぜなら、スポーツの結果は致命的にはなりえないからです。あくまでもスポーツはスポーツ。ですから、スポーツで何かうまくいかないときに、わざわざ親に出てこられるのは子どもにとって嫌なことですし、その必要もないのです。

所属しているチームが安心できる環境だと確信したのなら、あとはすべて、コーチと試合の成り行きに任せてください。成功も失敗も、すべて子どもたちのものなのです。

親として言ってもいいのは「君のプレーを見てるのが楽しい」。それだけです。余計な口出しはしないで、ただ楽しむべし。筆者の個人的な見解としては、これはスポーツだけに限ったことではないような気もしますが。

二刀流成長大きく

小さい頃から複数のスポーツを行うことのメリットについて、海外の例や十勝身のトップ選手らの体験談を学ぶシンポジウム。考え、みんなど、刀流。日本アイスホッケー連盟(日連)主催、帯広アイスホッケー連盟(帯連)共催が11日午後7時から、市内のこうらプラザ「1階」ホールで開かれ、スポーツ界全体でマルチスポーツを推進することの重要性などを語り合った。約100人が来場した同シンポジウムを主催する紹介する。(岡田博人 撮影) (記者 鈴木 尚)



「いろいろなスポーツに挑戦を」と話す奥井雅乃



「いろいろなスポーツに挑戦を」と話す奥井雅乃



「いろいろなスポーツに挑戦を」と話す奥井雅乃

杉浦、桑井、志賀選手 市内でシンポジウム

杉浦 練習も自分から楽しく

北海道日本ハムファイターズ投手、杉浦大輔。小学3年から野球。冬はアイスホッケーをしてきた。十勝という環境、周りも同じようにスポーツを掛け持っている人が多く、当時も、想像もなかった。ただ、親の方が歓迎的だった。自分も、自分を含め、入らないうちに、つながら、失敗を恐れず、

桑井 全ての経験ラグビーに

リオ五輪女子7人制ラグビー代表、桑井雅乃。小さい頃からアイスホッケーを始め、ラグビー、サッカー、バレーボールなど、様々なスポーツに挑戦してきた。失敗から学ぶことも多い。ラグビー代表に選ばれたのは、その経験が活きたから。失敗から学ぶことも多い。ラグビー代表に選ばれたのは、その経験が活きたから。

志賀 「一番やりたい」を発見

アイスホッケー平昌五輪日本代表、志賀優磨。小学2年からアイスホッケーを始め、サッカー、バレーボールなど、様々なスポーツに挑戦してきた。失敗から学ぶことも多い。ラグビー代表に選ばれたのは、その経験が活きたから。失敗から学ぶことも多い。ラグビー代表に選ばれたのは、その経験が活きたから。



米国チームと同様している。田中(左)と志賀(右)。

エミリー・ウエストマネジャー 長期的に育成を

エミリー・ウエストマネジャー。アイスホッケーの育成に力を入れている。長期的な育成を重視している。アイスホッケーの育成に力を入れている。長期的な育成を重視している。

新井彬子：東京理科大助教 環境整備が重要

新井彬子。東京理科大助教。アイスホッケーの環境整備が重要だと話している。アイスホッケーの環境整備が重要だと話している。



講演する新井彬子・東京理科大助教

決勝盛り上がり感じて

帯広のアイスホッケー女子U18世界選手権が12、13の両日(12日)開幕。大会を主催する日ハムアイスホッケー連盟(日連)と帯広アイスホッケー連盟(帯連)が主催する。帯広アイスホッケー連盟(帯連)が主催する。



2019.1.6-13 帯広

IHFチェアウーマン マルタ・ザヴァツカ氏 初の大会「取り組みしっかり」



「多くの試合が接戦でうれしい。大会の運営の取り組みもしっかりしている」と話すアイスホッケー連盟のマルタ・ザヴァツカ氏。(11日、金野和彦撮影)

アイスホッケー女子U18世界選手権が12、13の両日(12日)開幕。大会を主催する日ハムアイスホッケー連盟(日連)と帯広アイスホッケー連盟(帯連)が主催する。帯広アイスホッケー連盟(帯連)が主催する。

かちまいスポーツ

電話：011-260-93-6410 FAX:011-260-93-6400 Eメール：sports@kachimai.co.jp

Table with sports results including basketball (バスケットボール), volleyball (バレーボール), and other sports. Columns include team names and scores.

子どもたち伝えたいこと

『最初からスケートばかりをやっていたわけではない。小さい頃から、いろいろなことをやってきた。』

『何か一つのことを極めていこうというとき、何か壁にぶつかった際に、いろいろしてきた経験が役に立った。』



親として避けるべし: 大学生アスリートに聞いた「子どものころのスポーツの最悪な思い出」



子どものスポーツの大会などを見に行くと、横柄な親の姿が目につきます。あからさまに、審判をやじったりコーチをバカにしたりして、子どもに恥ずかしい思いをさせる親もいます。でも、困った親はそれだけではありません。善意からの行為が、無意識のうち我が子のスポーツという体験を台無しにしているケースもあるのです。よかれと思ってやっているだけに、むしろこっちの方がやっかいなのかもしれません。

Proactive Coaching LLC のブルース・E・ブラウン氏とロブ・ミラー氏は、かつてスポーツコーチをしていた経験をいかし、学校などで大人向けの講演を行い、知らず知らずのうちに困った親にならないための方法を伝授しています。2人は数百人の大学生アスリートを対象に、子どものころにあったスポーツにまつわる最悪の思い出を調査しました。その結果、「試合終了後に親に送ってもらう車の中」という答えが圧倒的に多かったのです。

その理由は、「まだ汗も乾いてないうちに」、親が試合内容についてあーだこーだ言うからではないかと言われています。試合直後の子どもにとっては、勝ち負けは関係なく、自分のプレーやコーチの采配などについてグダグダ言われるのが嫌なのです。観客でも偽コーチでもなく、「親はただの親であってほしい」のが子どもたちの願いだと、ミラー氏は言います。

スポーツとは、子どもの人生において、「好きなようにやりなさい」と親に言ってもらえる数少ない場所です。彼らにとっては、リスクを取り、失敗に対処するのに、これほど

いいチャンスはないでしょう。なぜなら、スポーツの結果は致命的にはなりえないからです。あくまでもスポーツはスポーツ。ですから、スポーツで何かうまくいかないときに、わざわざ親に出てこられるのは子どもにとって嫌なことですし、その必要もないのです。

所属しているチームが安心できる環境だと確信したのなら、あとはすべて、コーチと試合の成り行きに任せてください。成功も失敗も、すべて子どもたちのものなのです。

親として言ってもいいのは「君のプレーを見てるのが楽しい」。それだけです。余計な口出しはしないで、ただ楽しむべし。筆者の個人的な見解としては、これはスポーツだけに限ったことではないような気もしますが。



【日常活動に関わって】

1. 電子メール・HP・掲示板・ブログの活用について

配布物について、基本的にはパソコンの電子メールでの配信とします。但し、お持ちでない場合は、FAXなどの対応をとります。

また、皆様から指導者への連絡につきましても、有効にご活用ください。

(緊急性のあるものは電話連絡をお願いします。メールを確認するには時間がかかる場合があります。)

今後事務作業の軽減・経費の削減のため、できるだけメールアドレスの取得をお願い致します。

なお、連絡をいただく場合は、必ず選手名を明記されるなど、送信された方が分かるようお願いいたします。

(例) 「○○です。」 → × 「幕別札内FC4年生の○○」です。 → ○

E-mail : ecsproject21@gmail.com (小田)
tumire0217@gmail.com (渡部)
hrn2ikr.0323@gmail.com (新倉)

さらに、クラブの活動に関することを各種SNSで紹介しています。

【アプリ】 <http://uplink-app-v3.com/app/download/sid/12638>

【ブログ】 <http://satsunaisc.east-hokkaido.co.jp/blog/>

【Facebook】 ブログ同様の内容をアップしています。

【Twitter】 https://twitter.com/spo_re2000 ユーザー名@spo-re2000

【Instagram】

2. 名簿兼連絡網について

個人情報に掲載されておりますので、取り扱いには充分気をつけて下さい。

また、最後まで確実に回るようご協力お願い致します。(年に数回使用の可能性が有ります)

3. 承諾書について

確認いただく意味で、年度ごとに必ず承諾書を提出していただきます。

4. 練習参加について

①必ずしも毎日参加しなければいけないものではありません。他の習い事、体調不調、用事などに合わせて、無理のないよう参加してください。**様々な分野へのチャレンジを推奨しています！**

②持ち物

- ・ボール（小学生…4号、中学生以上…5号） ・タオル ・飲み物 ・温かい服装
- ・運動できるシューズ（できればスパイクシューズで） ・レガース（すねあて）
- ・その他必要と思われるもの

③練習を休む場合の連絡

【小学生】基本的には必要ありません。もしケガや長期で休むなど特別に連絡を入れておいた方がいい場合はご連絡願います。

但し、大会やイベント等を休む場合は、必ず理由とともに選手自身で担当スタッフに連絡をさせてください。（電話もしくは直接）

【中学生以上】連絡が必要です。その都度、**選手自身で**担当指導者に電話連絡をさせてください。

④雨天の場合

天候の状況によって中止の可能性もあります。メールもしくは連絡網で連絡いたします。

（原則1時間前に判断しますが、練習直前に急に中止になることもあり得ます。）

5. ソックスの購入について

【小学生】共通→赤、4年以上→黒も追加

【中学生】共通→赤・青

6. その他

- 自分のことは自分でやるように促してください。
- 常日頃より、バランスの良い食事が摂れるようご配慮をお願いいたします。
（遠征では原則完食です！！急には食べられません。普段の意識付けです）
（「家で何度言っても食べないんですよ～」は責任逃れです！）
- **子どもたちは大人の操り人形ではありません。「子どもたちは、子どもたちの中で育つ」**
という意識で**寄り添い・見守るスタンス**をお願いいたします。
- たくさんたくさん誉めて、励ましてください！もちろん時には叱咤激励も！！
- 子どもたちの活動を通して、大人たちも思いっきり楽しんでください！！
それが、また子どもたちにも返っていきます。

【大会参加に関わって】

大会参加に関わって、円滑な大会運営と子どもたちの育成のため、下記の点において、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

1. 駐車ならびに大会運営での当番について

「少しぐらい」「自分ひとりぐらい」といった考え方は絶対にやめてください。これまで当クラブの保護者の皆様はルールを厳しく守ってくださっていました。良き伝統を受け継いでいけるようご協力お願いいたします。

管内では、まだまだ新規チームですので、より一層ご配慮のほどよろしくお願いいたします。

2. ユニフォームについて

クラブの所有物となりますので、取り扱いには充分気をつけてください。

返却時は洗濯をして所定の袋に**番号が見えるようにきれいにたたんで**入れてください。
(ユニフォームを返却していただく際は、その都度連絡いたします。)

3. 応援について

近年、サッカーでは、保護者の応援について危惧されています。

「チームに係る周囲の保護者からの罵声やサイドコーチング及び審判の判定に異議を示し、主審及び副審から一度注意を受けた後に再度注意を受けた場合（一度目の異議が悪質な場合は一度で）、その当事者をその試合から退席させ、監督を3分間の一時退席とする。」

※サイドコーチングとは、監督・コーチ以外の人間が選手の判断にまかせない指示をすること。（監督・コーチであっても望ましいことではない。）

例えば、パスの指示、ポジションの指示など、チーム及び選手に対する戦術的助言を指す。

サッカーの育成においても、「教えすぎ」について指摘され、『判断力』がなかなか身につかないということがスポーツ界・教育界での課題となっています。また、指導者・選手は、各大会各試合ごとにねらいを持って臨んでいます。大事なことは単に勝ち負けではありませんので皆様の応援も、選手を励ます応援、失敗を受け止める応援を、『楽しみながら』よろしくお願い致します。

4. 原点を忘れずに・・・（重要）

2000年6月 北公園において札幌北小学校3年生4～5名で始めた同好会

2000年8月 少年団設立

2001年4月 チーム協会登録

2001年5月 初の公式戦 48チーム中48位（無得点 47位・48位決定戦0－11）

サッカーを始めて半年ほどしか経っていない子達で試合出場。十勝管内最弱なチームでした。

そして、公式戦出場2大会目。ついに初ゴール！！

”ずっとサッカーをやりたいかったけど、やる勇気がわからず、みんなより、さらに遅れて入った子”

ゴールネットにす～っと入っていく間、そして決まった瞬間、選手・保護者・ベンチの想いが完全に一つになった時でした！！

そして、相手チームの保護者からも喜びの声。「味方にも」「相手にも」喜ばれたゴール！！

いまだにあのゴールは忘れられないクラブ史上でも大切にしていきたいゴールだと思っています。

※この年は・・・結局、冬のフットサルになって初勝利！！

小学生チーム創設時は、

「絶対に学校のグラウンドは使用させないよ。」の声。

「札幌スポーツセンターはサッカーボールは使用禁止。」

「遠征なんて何で行く必要があるの？」

それでも、子どもたちのためにご足労いただき、地域からの理解を得てきたOBの保護者の皆様 子どもたちがどんなにミスをして「いいよ！ いいよ～！！」といつも誉めてくれていたお母さん方。

みんなが、このクラブの「原点**」を忘れずに、スポーツをサッカーを楽しんでいきましょう！**



幕別札内FC 保護者の会 役割

学年幹事さんはあくまでも連絡・調整役であり、基本的には全ての保護者の皆様で子どもたちの活動、クラブ運営を支えていただきます。

弊クラブの理念は『支え合い』です。他人任せや幹事任せといった考え方で関われる方は、弊クラブには向かないと思われまます。

1. 幕別札内FCに関する全ての活動の支援
2. クラブ主催大会やイベント時など、クラブ本体の運営に関する活動の補助
(例) 「みんなでサッカー & 焼肉」は保護者の会主管
3. 学年2名以上の幹事選出など
 - 学年幹事は各種業務での連絡・調整 (学年間ならびに他の学年とも)
 - 【主な業務内容】
 - ①大会時などのテント・チーム旗などの運搬や保管の役割分担調整
(クラブハウスや車庫などに保管可能)
 - ②大会運営の当番にあたった際の、設営・記録・撤収の役割分担調整
 - ③クラブイベント時や納会などでの役割分担調整
 - など
4. 各学年において、少なくとも年1回の懇親会開催 (ノミネーション!!)

大会日に合わせて...など日にちは各学年の判断で自由。

【留意事項】

- ☆ 大会時のチームテントなどの設営や撤収では、可能な限り子どもたちも参加し「みんなで」活動ができるようにしてください。(時間がかかっても構いません)





幕別札幌FC 会費など納入について



(家族会員となります)

	月会費	+	ユニフォーム代 (年度当初)	=	年間合計 (月払い)		年間合計 (一括払い)
新規 …	¥4,000/月		中学 ¥7,000 小学 ¥15,000		中学 ¥55,000 小学 ¥63,000		中学 ¥54,000 小学 ¥62,000
継続 …	¥4,000/月		不要		¥48,000		¥47,000

家族会員となりますので、兄弟姉妹については二人目以降は不要ですが、ユニフォーム代については、個々にかかるものですので、全ての選手が対象となります。

☆ 4月一括納入の場合は1,000円引きとなりお得です！

(途中退会の場合、居住地移転等により明らかに継続が困難である際は返金可能です。)

月々の支払は、原則、前月の20日までとなります。

《納入方法》

【口座振替】

- ① 帯広信用金庫の口座を開設していただく必要があります。
 - ② 口座振替申込書を提出。(用紙は用意します)
 - ③ 毎月、20日に口座から振替させていただきます。
- ※ 但し、一定の人数に満たない場合は、振込もしくは直接手渡し。

【一括納入】

- ① 入会前日までに振込もしくはスタッフに直接手渡し。
古封筒にお名前を記入願います。(説明会時でも可能)

振込先

(手数料は自己負担)

【金融名】帯広信用金庫 【支店名】中央支店 【種別】普通
 【口座番号】1 2 6 2 1 4 1
 【名義】特定非営利活動法人幕別札幌スポーツクラブ

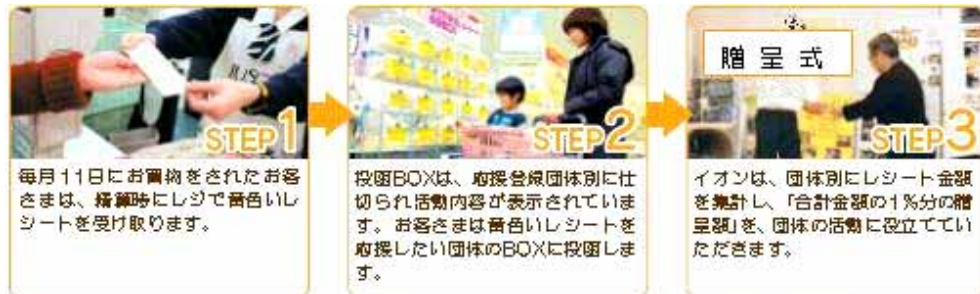


イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン 応援登録団体募集要項

1. キャンペーンの趣旨、目的

イオン全従業員が地域への社会貢献活動をおこなう「イオン・デー」(毎月11日に開催します)に、地域で活躍されている「ボランティア団体」などに対して、イオンがその活動に役立つよう物品をもって助成するものです。

2. キャンペーンの内容



標準的な登録期間*

登録開始月	登録終了月	贈呈月
3月	8月	10月
9月	2月	4月

*12ヶ月を登録期間とする店舗もあります。

3. 助成先団体の基準

助成先団体としてお申込みいただくためには、次の基準1～基準4までを満たすことが必要です。

基準1) 団体の活動分野 (活動内容が次の5つの分野のうちいずれかにあてはまる)

	活動分野	活動事例
1	福祉の増進を図る活動	お年寄り・障害者の介護、福祉施設、点訳・手話・朗読サークル、授産施設、養護学校、盲学校、聾学校、フリースクール
2	環境保全・環境学習の推進を図る活動	リサイクル推進活動、環境教育活動、自然保護保全活動、地球温暖化防止活動、動物保護
3	街づくりの推進を図る活動	町の清掃活動、緑化活動、景観保持活動、事故防止・町の浄化活動
4	文化・芸術の振興を図る活動	伝統芸能の保護活動、文化事業の推進、芸術ボランティアの育成、地域に根ざした国際交流・協力活動
5	子供の健康と安全の増進を図る活動	スポーツを通じた子供の育成活動、ボーイ/ガールスカウト、子ども会など子供の育成を目的とした各団体の活動

これらの活動分野の推進を行っている学校も対象とします。

基準2) 店舗の近隣にて過去6ヶ月以上の活動実績があり、活動分野の目的を遂行しながら、今後も継続的に活動できる団体。

基準3) 申込時に「団体登録申込書」「活動内容報告書」を提出、登録時に「団体登録承諾書」を提出し、定期的に「活動内容報告書(半年に1回)」を提出できる団体。

基準4) イオンデーの店頭活動、その他必要に応じて交流活動ができる団体。

4. お申込みの前に

1. 団体の活動内容や状況によっては、登録のご希望に添えない場合がございます。
2. 登録は、「1団体1店舗のみの登録」とさせていただきます。(但し、イオンリテール(株)店舗とマックスバリュ各社店舗など、運営会社異なる店舗への複数登録は可とさせていただきます。)
3. 基準を満たす団体が多数の場合、抽選や入替制などの方法を採用させていただく場合がございます。

5. 団体登録申込方法

「団体登録申込書」「活動内容報告書」の入手方法

黄色いレシート実施店舗のサービスカウンターでお受取りいただくか、次のウェブページの書式を印刷することができます。
(<http://www.aeon.info/environment/social/aeonday/form.pdf>) 必要事項をご記入ください。

申込書の受付場所・受付期間

登録を希望される店舗のサービスカウンターにお持ちください。電子メールなどによる受付は行っておりません。
受付は年間を通して行なっています。

受付から登録まで

店長・従業員による面談後、登録の有無を決定し、書面にて連絡いたします。

半年毎(店舗によっては1年毎)に、応援する団体を決定します。次の期間も登録を希望される場合は、その都度「団体登録申込書」「団体登録承諾書」「活動内容報告書」をご提出いただけます。

6. 贈呈品に関して

基本的に「イオン 幸せの黄色いレシート」実施店舗で販売されている商品から団体の活動目的に必要な品物を、贈呈額に応じてお選びいただけます。

趣 意 書

NPO 法人幕別札幌スポーツクラブ 賛助会員（寄附金）様の募集

2019年吉日

地域の皆様には、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素はひとかたならぬ御愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。NPO 法人幕別札幌スポーツクラブの主旨に賛同いただき、クラブを支え、応援団となってくださる方を募集しております。クラブ活動をはじめ、より一層の青少年健全育成、地域住民の健康増進等のために活用させていただきます。

【クラブ理念】

～地域で子どもたちを育てる～

次世代の地域社会づくりを担う子どもたちを中心にして、幕別町にゆかりのある人々が、いつでもどこでも、個人の能力と欲求に合わせて、サッカーを中心とした様々なスポーツや文化的活動が楽しめる環境をつくる。お互いにファミリーとして支え合い、人間性豊かな子どもたちの育成ならびに地域づくりに努める。

ご寄付を頂きました皆様のお名前ならびに企業名等はクラブのHP、広報誌、その他に掲載し公開させていただきます。（公開を希望されない方は申しつけください。）

— 記 —

☆賛助会員（寄附金） 1口（個人）3,000円（法人）10,000円

☆寄附金の要領

- (1) 依頼訪問者に直接渡して頂く方法
- (2) お振込いただく方法 ※振込手数料分を差し引いてお振込ください
【口座名】帯広信用金庫 札幌支店 普通1263369
特定非営利活動法人幕別札幌スポーツクラブ

☆寄附金の期間

2019年4月1日以降随時（2019年度分）
（毎年4月1日以降、新年度の応募を行う予定であります）

☆お問合せ先

〒089-0543 北海道中川郡幕別町札幌中央町 532-12

幕別札幌スポーツクラブ

検索

TEL 090-5953-8678（渡部） FAX 0155-66-9877

ホームページ：<http://satsunaisc.east-hokkaido.co.jp/>

E-mail：sfc21makubetsu@yahoo.co.jp

賛助会員入会申込書

年 月 日

(ふりがな)

お名前

御芳名の掲載名

※ 御芳名の表示を希望されない場合は、以下にし印を記入してください。
 外部に一切表示しない 印刷物への表示をしない HPへの表示をしない

ご住所

〒 -

電話番号

() -

FAX番号

() -

E-mailアドレス

ご担当者氏名及び部署

ご担当者氏名

(法人・団体の場合のみ)

部 署 名

賛助金

□

円